小笠原諸島

江戸時代まで小笠原諸島にはイギリス人やアメリカ人が住んでいたので

日本　アメリカ　イギリス　で小笠原諸島の帰属を争いました。

1876年、日本の領有宣言をイギリス、アメリカが認め、小笠原諸島を日本領土と画定した。

最後の琉球国王
尚泰

琉球から沖縄へ

琉球王国は江戸時代には、薩摩藩の支配を受けながら清にも服属し朝貢していました。

政府は1872年、琉球王国を琉球藩としてその領有を主張しましたが、琉球は清への朝貢をやめませんでした。

↓

1871年、台湾に漂着した宮古島の住人54名が、台湾の原住民によって虐殺されました。この事件の報復として、1874年、日本は台湾に出兵しました。

（このとき日本は清に抗議したが、清は「台湾は化外（けがい）の地」（統治外の土地）として、責任はないと答えたので、日本は台湾は清の支配が及ばない土地と解釈し、台湾を制圧した。）

↓

後に清と交渉し、日本の台湾出兵が自国民（琉球人）への加害に対する義挙であることを認めさせた。

||

これによって、琉球の領有権が認められたものとし、1879年琉球藩を廃止し沖縄県を設置しました。（琉球処分という）